

中齋塾 東京フォーラム
平成 29 年度 第 8 回講話

平成 29 年 10 月 14 日
於 湯島聖堂

おはようございます。猪瀬理事長の話は齢を重ねるにしたがって良い話になってきます。本の整理ということで、私も整理をせっせとしています。同じようなものだなということを感じます。

今、本の整理はこう考えています。再来月、時間をとって本社道場にある控室に本を並べて置こうと思っています。どなたでもお好きな本をお持ちくださいというようなことを考えています。

私の兄が本を整理する時、市役所に話をして図書館に本を預ける。それで、ここの棚にある本はどうぞお好きな方お持ちくださいとしたら、時間は掛かったけど全部なくなったということです。

ちなみに石崎評議員の御主人の話をしてもいいですか？（石崎さんに、その場で確認を取った）石崎さんの亡くなられた御主人は私の親友でございました。その彼が本をたくさん残していました。それで勤め先が大学でしたので、蔵書をプレゼントしたいとなったのですが、最近の風潮は、どこの大学も図書館も公的な部分は受けません。〇〇文庫というのは、言い方は悪いけれど、仕方なく受け取っているわけです。本を受け取っても封を開けられないまま山積みになる。本を戴いたけれども、目録ができない。人手不足、財源不足、その他いろいろです。石崎さんの場合も同じ話になります。それで理事長に会って「奥さんがこう言っているけれど、どうだろう」と話したら、理事長あてに送って、その中から戴ける本と戴けない本との区分をする。戴く本は図書館の中で誰でも見られるような形はできるけれども、そうでない本はそれなりに対応させていただきます。それでよければ送ってくださいとなりました。一昔前は大学に寄贈するというとスムーズに受け取ったものが、今は置くスペースが無くなってしまって、それでそういう言い方に変わってしまいました。

株式会社ベストセラーズは、ベストセラーの本を出そうと思って会社をつくったけれど、そうそうベストセラーは連発できない。良い本と悪い本がやっぱりある。悪い本を読むと毒される。良い本を読むと浄化されてくる。だから良い本・悪い本を選ぶ能力を磨く必要があると私は思います。

それから聖堂の隣に企業家ミュージアムという施設があります。看板に入場無料と書いてある。有料だったら入らなかったけれども、無料だから入ってみた。昔、東銀座で安岡

正篤先生の息子さんが作ったサロンを小型化したみたいな部屋でした。色々な創業者の良いことが書いて並べてあった。その方面に知識のある人を見ると、色々注文をつけたくなる。ところが知識のない人を見ると感心して見る。ちょっと時間があつたら、あとで企業家ミュージアムの宣伝をしてください。皆さんも見に行つて、色々と言えれば10年間学んだ横軸の知識が増えたと思つて良いでしょう。何も理解できなかつたら、知識がまだ少ないと思つてください。それに対してまた何か注文をつけるとしたら、第二段階の縦軸の学問にいった方がされれば良いでしょう。

言いだしたから、幾つか言つておきます。中斎塾フォーラムの今井理事の代わりにPRします。『人生100年時代の生き方』という本を白岩禮三先生が書きました。今井さんも共著者に名を連ねています。若人に対する人生の切り開き方というのかな、私はこうしましたよということが書いてありました。氣にいられたら、どうぞお買い求めください。本人が来てPRすれば良いのですけれどね。

それから西谷さんが先ほど朝日新聞東京版のコピーをくれました。大学の記念式典で夏目漱石のロボットが話した内容が書いてあります。漱石アンドロイドが「教育こそが不透明な世界を切り開き、新しい道を作つていく重要な鍵になる」などと祝辞を述べた。これは漱石の孫が、吹き込んでおいたものを流したのですが、少し加工して言葉を話すというようなことでした。

・健康で長生きしたいと思う方は？

—有難うございます。

・もう十分生きたから、いつあつちへいつてもいいよという方は？

—いっぱい、おられますね。

酒井理事は、やっぱりこの世に未練がない人ですね。でも、アフリカに行つたら獣に食べられて跡形もなくなるということは無しで、せめて西郷隆盛のような形で残つていただくと良いと思います。西郷隆盛は自分の体に銃弾を何発もあびて「もうここらへんでよか、頼むよ」と言つて、後ろにいた人に介錯され首が落ちた。今の時代の人には西郷さんの本物の顔があつたとしても分からないけれど、当時の人は分かつた。さて首から下はどうやって判断したか。西郷さんは109キロの大男です。病氣で睾丸が大きく膨れあがっていた。だから胴体検分をした時に、肥大化した睾丸を見て西郷隆盛の体だと分かつたそうです。

健康で長生きの話をなぜ話したかというのと、夏目漱石は不健康で早く亡くなりました。甘い物が好きで、孫娘に「お小遣いをあげるから台所に行つて甘い物を取つておいで」と言つて、甘い物は禁止されていたけれど、そうやって甘い物を食べすぎて吐血して亡くなりました。

一昨日、中齋塾フォーラムの会員の方の講演を聞きに行きました。話していたのは労働基準法についてです。あの先生の話を知っていると面白いので一つだけご紹介します。意訳もあります。

労働基準法は会社の味方ではありません。労働者や社員の味方です。労働基準法は会社側を痛めつけるための条文がたくさん並んでいて、会社側を擁護・応援する条項はありません。それで皆さん方（たくさんの方々が来ていました）は、なぜ自分達に与えられた武器を活用しないのですか。その武器というものは「就業規則」です。就業規則は会社を守るための武器です。その武器は、よく考えて作らなければいけないということです。

たくさんの方々が倒産した会社社長の話を聞いて聞いたけれど、共通項が一つだけあることが分かりました。それは就業規則が無い。あっても形骸化していて役に立たない就業規則ばかり。自分の武器を磨いていない会社が倒産している。就業規則をより強い経営者の味方にするための方法を教えてくださいということです。それでその話を聞いた人が労働基準監督署に出かけて「こういう話を聞いたけれど、どうなんだろう」といった。そうしたら労働基準監督署から、お聞きしたいということになり、すぐ弁護士に連絡を取って相談をしたら「大丈夫です、安心してやり取りしてもらえばいいでしょう」という話になり労働基準監督署の偉い人がやってきて色々調べていった結果、「違法ではありません。ただ労働基準監督署の立場としては、あまり嬉しくない講演ですね」と。それは当たり前です。何のために労働基準監督署ができたかを考えれば分かります。

これは今日話をしようという前段階の話です。会員さんに関係する話でちょっとお知らせしようと思ったものを言いました。

今までの第一段階は、知識を身につけようということ、あちこち飛ぶように話をしていました。あの知識、この知識を盛り込んで喋っていくと、知識と知識が急に融合して弾けるという言い方をしていました。

知識は、色々な話をあちこちで聞いたものが、ある日突然、思い続けているとポンと融合し、知恵に変わってくる。ということで、色々な知識を織り込んで話すようにしていました。それで10年経ちましたので、第二段階の判断基準を身につけるところに入っていますから、レジュメどおりにまいりましょう。

基本哲学＜知足＞

「足るを知る」という言葉は、中齋塾フォーラムの基本的な考え方です。いわゆる哲学です。足るを知るは程々にしておこう。「知足」は、お腹いっぱい食べない。程々にしておく。でも有難いことに加齢というのは程々にしますね。最近、良い科白を聞きました。今

まで女性の 25 歳はお肌の曲がり角と聞いていたけれども、男性は 28 歳。28 歳は人生の曲がり角。色々な会社を創業する人達は、何歳で会社をつくったか。意外と 28 歳が多い。ちなみに私も現在続いている会社は 28 歳でつくりました。最近、人生で大きな転機を迎えるのは 28 歳が多いなと思います。女性は 25 歳、男性は 28 歳。若い人を見つけたら、そうアドバイスしていただいても良いかと思います。

そういうことで知足は色々なキーを使って喋りますから、程々がいい。食べ物も食べ過ぎないこと。さて、今風に切り替えると選挙です。選挙で、あの人もこの人も手を出さなきゃいいのと思います。手を出そうと思ったら、ちょっと立ち止まって理性で判断して考える。食べ物は、これ以上食べてはいけなくて理性で程々に止める。男性が女性を見るとき、女性も男性を見るとき、家庭を壊してはいけなくてと思ったら、見るだけで止めておけということです。手を出しかけても、止めて戻せということです。基本哲学はそういうことだと思います。

恒例の質問

初めてお聞きになる方が何人かいますから、ここ 1 ヶ月間に限定しましょうか。

・良い日が続いたなと思う方。我ながら良い日が毎日続いている。

手を挙げなかった方に申し上げますと、天秤にかけない。男性からみて、朝起きた時に何でこいつと一緒にしちゃったのかな。でも一緒になったからしょうがない。奥さんからみて、稼ぎ少ないな。何でこんなに少ないのと一緒にあったら、お互い天秤にかけると不幸だから、気持ちよく自分の人生と一緒に過ごしたいと思うにはどうしたらいいか。相手のことを思い、相手が喜ぶことをお互いにしてあげれば良いと思えば良い夫婦関係ができます。

昨今は不倫という言葉だけでひと括りにすると、今の選挙、判断基準を間違えます。何人もの政治家の不祥事に、政治家の話は嘘つきだと思い、選挙民は多くの政治家の不祥事はどっちもどっちだと感じる。何でそうなったのか。それは政治家のレベルが落ちたからでしょう。

何故こんなことを喋りだしたか。天秤にかけるといふ話の時に、良いことがいっぱいあったら手を挙げよう。悪いことがいっぱいあったら手を挙げないでおこうとしない。天秤にかけない。悪いことがあったら、そのことは丸めてフッと飛ばしてしまうことです。良いことがあったら、良いことに息を吹きかけて、火種を残しておく。火種になって残ったものが、ずっと大きくなっていく。良い日が続いたら、火種を吹いてどんどん燃え盛るようにしましょう。良いなと思うことを思い出していると嫌だったものは段々と忘れていきます。良いことだけ思う。良いことを思い出したら手を挙げる。良いことばかり思ってい

るほうが人生としては楽しいです。

・嘘をつくことはリップサービスも含めて少なかった。

政治家が勝手に人生いきっていく上で嘘はしょうがないと「解散はいつだということを嘘ついてよい」と、余計なことを言ったけれど、そういうことを言う政治家は落としてよい。嘘ついてよい人間が、政治家が、どこにいるか。しかもリーダーシップを取らなきゃいけない人間が嘘をついてよいと堂々と言っているそんな国はありえないと私は思います。嘘はつかないほうがよい。ただ相手を助けるために言う嘘は悪くはない。

・有難うと言うことが多いし、言われることも多かった。

有難うは、いっぱい言うけれど、有難うとは言われませんよね。ただ段々中身を考えましょう。有難うと言われることが多かったという時に、食事をしたり買い物をして「有難うございました」と言われますが、心が通じ合ったような感じで店員さんから言われたらカウントしても良いですが、お腹がすいてパッとお店に駆け込んで早々に食べて出る時に、店員さんが適当に「有難うございました。またどうぞ」という「有難う」はカウントしてはいけません。アンドロイドが無感情で「有難うございます」と言うのを聞いて、楽しくともなんともない。心が通じ合った「有難う」が良いと感じます。

・自分なりの健康法を実践したといえる方。

ちなみに健康法は2つあります。肉体を磨く、練磨する健康法と心を磨く健康法と2つあります。肉体だけでも、まあまあ何とかなる。心を磨いていけば自然とよくなる巨顔の顔というのがあります。

安岡先生の話です。女性は骸骨の上の表皮が綺麗であればあるほど心を磨きなさい。若いときは肌の艶がよくて、誰が見ても美人だなと言い寄ってくる人はいるだろうが、今は100歳まで生きる時代です。例えば、皺が出てくるのは幾つぐらいでしょうか。世間一般でいうと50代ぐらいですかね。皺が出てきても心を磨いていると美人で、こんなに品良く歳を重ねていくものかなと思われるようなお年寄りになりなさい。心を磨けば心が綺麗になって、心が綺麗になると表情に現れる。品が良いと、とても慕われる女性になるから、だから心を磨けということで2つです。男は体を磨け。手を挙げなかった方は何か手を挙げられるように努力をいたしましょう。

・昨晚、寝る時に、とても楽しいな、こんなこと思いたしたけれども、多分これを思い

出したら楽しくて嬉しくて寝てられない。とつても過去に楽しかったこと。これから私の未来は、こういうことが開けていて、これができたら嬉しい楽しい。わくわくするような楽しいことを寝際に考えた方。

3人。有難うございます。

・自分磨きはどういう形でもいいですが、自分磨きをやっていると思う人。自分磨きをしている方。

これは陽明学で事上磨錬といいます。日々の仕事、日々の生活の中で自分を磨く。磨きかたは色々あります。自分で考えてみてください。自分で考えてピンとこない方は聞いていただければ、その方その方に合わせたものをお話しします。追加で言うておきますが、寝るとき寝際に楽しいことを考えて眠るとよい。これは中村天風先生の表現に、お風呂に入るとあります。体の汚れを落とすのは通常のお風呂に入って体を洗えばよい。心の汚れを落とすのは寝際に。寝際に楽しいことを考えると、お風呂に入るのと同じです。特に心の汚れを落とすのは夜の寝際に。夜、寝るときに心のお風呂に入りましょうと天風先生が言うておられます。ここまでが基本哲学の知足の話となります。

紹介書籍

『盛大な人生』中村天風述 日本経営合理化協会

今日の紹介書籍は天風先生の『盛大な人生』を紹介します。天風先生曰く、自分の話をする内容は、人間が人生を生きていくうえで宇宙の摂理。日本流でいけば宇宙を司る神様かな、そことどう繋がるかということを説明している天風哲学の大学院コースのお話をしますということで書いた本です。御本人の口述筆記ですけど、一通り御覧ください。

論語の視点 <憲問十四>

今日初めて来た方に、論語の読みかたを申し上げます。私は何度も同じことを言う場合があります。意識して言っている時と、呆けて繰り返している時とか多分あるだろうけれど、いずれにしても、ここはこの話をしておかなければいけないと思う時に言います。

論語はイメージを映像化して心に描く。そういう読み方が一番ようございます。聖堂には孔子の像がありますが、一言でいえば、がっしりした親方みたいな体格です。君主の塊みたいな顔になっていますけれども中身は人間臭い。自分なりの孔子という人物を頭に描

いていただいて…その前に子路というお弟子さんがいます。色々な先生の本を読めばイメージが出てくると思いますが、子路はやんちゃ坊主がそのまま大きくなったような感じですよ。やんちゃ坊主が大人になって力づくで物事を決するが、正義感に溢れていた。そういう師匠と弟子のイメージを合わせて想像してみてください。

【四五】子路 君子を問う。子曰く、己を修めて以て敬すと。曰く、斯の如くなるのみかと。曰く、己を修めて以て人を安んずと。曰く、斯の如くなるのみかと。曰く、己を修めて以て百姓を安んず。己を修めて以て百姓を安んずることは、堯 舜も其れ猶諸を病めりと。

弟子の子路が孔子に、とんでもないこと聞いている。「子路君子を問う」子路が、君子に私はなりたいたいと思うけれども、君子はどうやったらなれるのですか。また君子とはいったいどういうものなのかと聞きましたら、孔子が答えて「己を修めて以て敬す」行いを正しくしなさい。慎み深くして身を処しなさい。西遊記に沙悟浄が出てきますが、沙悟浄は髑髏を首からぶら下げて、腰の周りにもぶら下げている。子路もそんな恰好で孔子の前に最初は現れたわけです。髑髏をぶら下げてはいないけれど、体中に色々な品物をジャラジャラぶら下げて、「孔子という奴はいるか」と来たのが子路です。その子路も段々と服装が正しくなってきました。

孔子が可愛がっている弟子なのだけれども、子路は暈の上では死ねないような乱暴者だが、正しいと思ったら突っ走るから、正しいと思っても突っ走るな。行いを正しくして目上の人には恭しく慎み深くしなさいと、子路が全然できそうもないことを言っているわけです。他の引込み思案の弟子には、また違うことを言います。

子路は「曰く、斯の如くなるのみかと」子路は全く納得していない。孔子が普段からそんなことを言っているから、私はそんなことは行っている。そんな誰でも知っているような簡単なことで私を誤魔化さないで、ちゃんとした本当のことを言ってくれといます。「曰く、己を修めて以て安んずと」自分を正しく磨いて人様を安心させなさいと。そうすると子路は、そんなこと百も承知だ、なんとくだらないこと言うのだろう。さらに聞いたら「曰く、斯の如くなるのみかと」先生それだけですか、私はそんなことやっていますと。そうしたら孔子が、お前はだから駄目だという。自分を磨いて、自分の身を、自分の行いを正しくすることによって多くの人々を安心させていく。そのようにして多くの人々を安心させることは、聖人といわれた堯や舜たちも出来なかった。あれだけの聖人が、どうすれば成るかを一生懸命考えて心を痛め苦しめた。心が病んだと捉えればよいでしょう。

今日の論語は、多くの人を安心させる「己を修めて以て百姓を安んず」これが西郷隆盛に繋がります。女性関係で、周りが拍手して応援する人なんてあまり聞いたことがない。

明治維新の志士だって、揶揄されるような話はいっぱい出るけれども、西郷隆盛の女性関係に対してはエールをおくる。多くの人々を安心させる、ほっとさせるという人徳があったんだと感じます。ただ西郷隆盛はこういう人物になりたいと強烈に思い、強烈に願って、自分の人格を磨いて磨いて磨きぬいて、ありのままになったんじゃないですかね。そうになりたいと願って努力をしてなっていたから、素晴らしいと思います。

今日の論語は、多くの人々を私は自分の行動で安心させているだろうか。政治家はそう考えなければならぬだろうと思います。私の言動は日本の国の人たち、今でいけば選挙民に安心感を与えているか。与えている人なんて、いるのかいなと感じますが、今日の読売新聞（2017年10月14日）で、大平正芳が選挙に出た時の自分の身の処し方について紹介がありました。

大平さんが立候補した時（1958年5月）の信条です。選挙公報3項目の信条で、節操を重んじ、出处進退を公明にする。自ら名利を求めず、請託を受けず、借財をしません。付度なんて付け入る余地がない話ですね。それから広く教養を身に付けるよう工夫し、財政を中心として諸政策の研究と具現に努力する。いずれにしても自分を磨いて、名譽力ない、お金を皆から貰おうと思わない、教養を身に付けるように努力しますと公約をする。だから何か聞かれた時「あー、うー」と言うのは、その間、頭の中がもの凄い回転をしていた。今の政治家たちは、少し爪の垢を煎じて飲めばいいと思います。

ということで、論語の中から自分に置き換えて論語を自分の言葉で熟読玩味すると自分の血となり肉となります。血となり肉となったら、その部分で世の中を見る。選挙の話になれば、選挙の誰に投票するかを見る・判断するを活かしていただくと良いでしょう。

論語を読むときには、先ほど申しあげたイメージが、このやりとりの問答が映画でも見るように、テレビでも見るように映像化できるかどうか。これが頭の中に浮かぶかどうかの一つの判断基準。それが出来たら自分の血肉になっている。血肉になっていると自信が湧いたら、自分のことに置き換えて考え、世の中のことに置き換え考えるというふう

に論語を活かしていただきたいと思います。

テーマ

判断基準（例 選挙）

今日の判断基準は選挙です。選挙に関しては、昨日と今日の新聞を持ってきました。選挙については、いっぱい出ています。昨日の新聞からいきましょうか。

まず目に付いたのは教育無償化なんてところに書いてあるが、これは日本維新の会・松井代表が衆議院選で最も訴えたいことは消費税凍結と身を切る改革による教育無償化の実現である。日本の税金の使い方はぬるすぎると書いてありますが、選挙に関して政党がど

ういう公約をするのか、各候補者、個人個人はどういうことを公約するのか、それを考える必要があると思っています。

だいたい選挙になった時に考えるのは、面白おかしい話ばかり追いかけて読んでしまう。私は、こういう順番で考えました。

今から話すことは私の仮説です。仮説はどんどん立てると良いと思っています。さて今回、何で選挙になったのか、選挙になった理由は何か。安倍さんが勝てると踏んだからではないかと仮説を立てて、それが当たったか当たらないか。当たったら、なぜ当たったか。はずれたら、何故はずれたかを考えれば良いでしょう。そういうことで、どんどん仮説を立てる。

選挙になった理由は、安倍さんが勝てると思ったから。それは誰でも思うわけです。そうすると何で安倍さんは勝てると思ったのか。または、どうして勝たねばならんと思ったのか。

ここからは仮説で、選挙に出てアメリカ、韓国、ロシアなど他の国から、今やれば勝てるのだったら、お金なんぼか出しますから、まだずっと続けていてね。スイスにお金を預けるのは危ないだろうから、どこか別の所を紹介もしてあげるとか甘い話を囁かれていますかという仮説が一つ。

他でいけば、日本の国を、うちの国にとって都合のいいような路線を安倍さんもっと出してくれないか、そうしないと貴方のスキャンダルをばらすと脅かされてはいませんか。

強気に発言していた政治家が、ある国へ行って帰ってきたら主張が変わってしまう人が結構います。あの政治家は、あの国から帰ってきたら主義主張がまるっきり変わって、その国に対して良いことしか言わなくなった。理由、嵌められた。嵌められる内容は、だいたい誰でも同じです。

今の選挙の判断基準で、できるだけ自分が気に入った政治家がいたら何を喋っているか何をやったかをパソコンの中に入れておけばいい。そうすると言行一致かどうかをチェックできます。調べると 10 年前に言っていたことと正反対のことを言っている人がいます。それで日本維新の会を見ると、みんな真面目なことをいっていると思うのですが、新聞がちょっとおっかない書き方をするなと思う部分があります。

憲法の改正ですが、読売新聞（2017年10月14日）「改憲 各党賛否明確に」とありますが、ここらへんで怖いなと思うことは自・公・希・維は 9 割前向きと書いてある。前向きという言葉は、積極的な意味を持つでしょう。天風先生は積極的な人生が良い。前向きが良い。何事にも前向きが良いと口を酸っぱくして言っています。そうすると「前向きが良い」という言葉は、すごく良い言葉です。良い言葉をわざわざ使うことは、ここに自然と票を誘導していると私はとります。こういう言葉を使っていることは、誘導して今の与党を勝たせよう、憲法を改正させようという下心が透けて見える新聞。新聞というか、書いた記者と編集校正した人たち。だいたい各新聞によって傾向があります。どこの新聞はどのような傾向かぐらいは覚えておくと良いと思う。

ちなみに、こういう言葉を使うということは、明るくて前向きで良いと思わせる部分があるから、こういう言葉があったらピリピリと反応してよく見直しをするといいです。自分のアンテナ、自分の感度を磨いてください。人間は自分の好きな言葉を使われると、ついふらふらと行っちゃう。経済界も同じだけど、爺さん転がしというのがあるでしょう。それはその人が好きな言葉を連発していくことによって、結果として自分の持って行きたい方向に爺さんを転がしていく。新聞を読む時に、どういう色の新聞か、それから言行一致かどうかを眺めていく必要がある。

それでこちら辺も、農業についてこれからどうするか。「減反廃止 具体策書く」なんて書いてありますけれども、これもやっぱり透けて見える話です。こういう書き方は社説にもありますけれども「何々すべきである」「何々したほうがよいと思う」とか、もう本当に他人事です。よくいえば客観的に評論家風を書くけれど、評論家というのは、どこまで調べて、どこまで読んで、どこまで考えているのかと思います。社説をひっくるめて自分の言葉で書いてないものが多すぎる。

自分の言葉で、自分の体験で、自分の信条というものを、もっと打ち出さねば新聞は死滅すると思います。他のマスメディアも同じです。かといってネットがいいというわけではありませんけどね。だから形が変わると思う。我々は、いわゆる選挙民の立場では、自分の判断基準を持ってメディアを見て、候補者を見ることをしなければならない。全て見られる訳はないから、自分が深く掘り下げたものを集中して考えていく。例えば、小澤さんは初の無所属選挙なんて書いてあるけども、小澤さんの言行一致はどうか。追いかけている人は、それを追いかければ良いわけです。ただ一箇所だけ見ない。

自分の主義主張、判断基準、一つのテーマで追いかけていくと、井戸の底まで掘っていくと、他の物も見えます。自分の一つの専門分野を作ればよろしいと思います。そうすると判断基準が自ずから生まれます。

以上で私の話は終了にいたします。有難うございました。